学校番号	J0324

令和８年度　社会科

学年	1	週授業コマ数	3.5	富中授業時数(45 分)	122	標準授業時数(50 分)	105
使用教科書	地理的分野　：「新編　新しい社会　地理」（東京書籍） 歴史的分野：「社会科 中学生の歴史」（帝国書院） 地図　　：「中学校社会科地図」（帝国書院）						
副教材等	地理的分野：「地理の資料」（正進社） 「学習整理 地理 1」（学宝社） 歴史的分野：「つながる歴史　大阪府版」（浜島書店） 「学習整理 歴史 1」（学宝社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・社会科は「考える教科」です。世界や日本の今や昔のことを知り、課題を見つけて自分なりに解決策を考えていくことは、みなさんがこれから社会をよりよくしていくために大変重要なことです。
・社会科で学ぶテーマは、多角的・多面的な視点で見ることで物事の見え方がまったく異なってきます。自分は物事に対して一面的な捉え方をしていないか普段から注意を払い､柔軟な視野と態度で授業に臨んでください。
・授業では、自分の得た知識や考えを言葉で伝える、文字で伝えるなどの方法で、表現する機会を多く設けたいと思っています。ペアワークやグループ学習も行います。
・定期テストに向けて計画的に勉強しましょう。毎日の積み重ねが大切です。分からないところは積極的に先生に質問しましょう。

2　学習の到達目標

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

【地理的分野】

(1) 日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の地域的特色を考察し理解し、地理的な見方や考え方の基礎を培い、我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を身に付ける。
(2) 日本や世界の地域の諸事象を位置や空間的な広がりとのかかわりでとらえ、それを地域の規模に応じて環境条件や人間の営みなどと関連付けて考察し、地域的特色や地域の課題をとらえることができる。
(3) 大小様々な地域から成り立っている日本や世界の諸地域を比較し関連付けて考察し、それらの地域は相互に関係し合っていることや各地域の特色には地方的特殊性と一般的共通性があること、また、それらは諸条件の変化などに伴って変容していることを理解する。
(4) 地域調査など具体的な活動を通して地理的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を身に付ける。

【歴史的分野】

(1) わが国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に着けるようにする。
(2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを次期や時代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力強いを養う。
(3) 歴史に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情，国民としての自覚，国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深め，国際協調の精神を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地理：観点の趣旨	・日本や世界の諸地域について、その地域構成や地域的特色、地域の課題などを理解し、その知識を身に付けている。 ・地図や統計、映像など地域に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	地理的事象から課題を見いだし、日本や世界の地域的特色を地域の規模に応じて環境条件や人々の営みなどと関連付けて多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	地理的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、広い視野に立ってわが国の国土及び世界の諸地域の特色について認識を養おうとする。
歴史：観点の趣旨	わが国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	歴史に関わる諸事象について，国家及び社会の担い手としてよりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学期末・学年末に３段階の観点別学習状況評価にまとめるとともに、観点別学習評価を総括し、５段階の評定にまとめます。			

※　表中の観点について　【知】知識・技能　【思】思考・判断・表現　【主】主体的に学習に取り組む態度

4　学習の活動：１２２時数

【地理的分野】　７６時数

月	**単元名(時数)**・学習内容	単元の評価規準	評価方法		
	第１編　世界と日本の地域構成（10）		知(a)	思(b)	主(c)
4～5月	**第１章 世界の姿（５）** ○地球儀や地図帳を活用し、緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置、地域区分などを理解し、世界の地域構成を大観する。 **第２章 日本の姿（５）** ○日本の緯度・経度、日本の位置、地域区分、日本の領域などを理解し、日本国内を大観する。	【知】緯度と経度，大陸と海洋の分布，主な国々の名称と位置などを基に，世界の地域構成を大観し理解している。 【思】世界の地域構成の特色を，大陸と海洋の分布や主な国の位 置，緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し，表現している。 【主】世界の地域構成について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 【知】日本の国土の位置，世界各地との時差，領域の範囲や変化とその特色などを基に，日本の地域構成を大観し理解している。 【思】日本の地域構成の特色を，周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し，表現している。 【主】日本の地域構成について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ノートやワークシートの記述	定期考査 ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述 学習に取り組む姿勢や態度

	第２編　世界のさまざまな地域（56）				
６月	**第１章 人々の生活と環境（11）** ○世界各地の人々の生活の様子とその変容にいて、自然及び社会的条件と関連づけてとらえ、世界の人々の生活や環境の多様性を理解する。	【知】世界各地の人々の生活と環境の多様性について、自然及び社会的条件と関連づけて、人々の生活の様子とその変容を理解し、その知識を身に付けている。 【思】世界各地の人々の生活と環境の多様性を、自然及び社会的条件と関連づけて、人々の生活の様子とその変容をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【主】世界各地の人々の生活と環境の多様性に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	定期考査 ノートやワークシートの記述	定期考査 ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述 学習に取り組む姿勢や態度
７～８月	**第２章　世界の諸地域** **１　アジア州（10）** ○アジア州の地域を大観しその上で、多様性と経済発展を主題として設定し、地域的特色を理解する。	【知】アジア州の多様性と経済発展をもとに地域的特色を理解し、その知識を身につけている。 【思】アジア州の多様性と経済発展をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【主】アジア州の地勢と国々に対する関心を高め、それを意識的に追究し、とらえようとしている。	定期考査 ノートやワークシートの記述	定期考査 ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述 学習に取り組む姿勢や態度
９～10月	**２　ヨーロッパ州（９）** ○ヨーロッパ州の地域を大観し、その上で地域統合を主題として設定し、地域的特色を理解する。	【知】ヨーロッパ州の地域統合をもとに地域的特色を理解し、その知識を身に付けている 【思】ヨーロッパ州の地域統合をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【主】ヨーロッパ州の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	定期考査 ノートやワークシートの記述	定期考査 ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述 学習に取り組む姿勢や態度
11月	**３　アフリカ州（６）** ○アフリカ州の地域を大観し、その上で人々の暮らしとその変化を主題として設定し、地域的特色を理解する。	【知】アフリカ州の人々の暮らしととの変化をもとに地域的特色を理解し、その知識を身につけている。 【思】アフリカ州の人々の暮らしとその変化をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【主】アフリカ州の地域的特色に対する関心を高め、それを意識的に追究し、とらえようとして	定期考査 ノートやワークシートの記述	定期考査 ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述 学習に取り組む姿勢や態度

12～1月	**4　北アメリカ州（8）** ○北アメリカ州の地域を大観し、その上で世界に対する影響力を主題として設定し、地域的特色を理解する。	【知】北アメリカ州の世界に対する影響力をもとに地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。 【思】北アメリカ州の世界に対する影響力を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【主】北アメリカ州の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	定期考査 ノートやワークシートの記述	定期考査 ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述 学習に取り組む姿勢や態度
12月～1月	**5　南アメリカ州（7）** ○南アメリカ州の地域を大観し、その上で開発・環境を主題として設定し、地域的特色を理解する。	【知】南アメリカ州の開発と環境をもとに地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。 【思】南アメリカ州の開発と環境を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【主】南アメリカ州の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	定期考査 ノートやワークシートの記述	定期考査 ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述 学習に取り組む姿勢や態度
2月～3月	**6　オセアニア州（5）** ○オセアニア州の地域を大観し、その上で他地域との結びつきを主題として設定し、地域的特色を理解する。	【知】オセアニア州の他地域との結びつきをもとに地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。 【思】オセアニア州の他地域との結びつきをもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【主】オセアニア州の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	定期考査 ノートやワークシートの記述	定期考査 ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述 学習に取り組む姿勢や態度

【歴史的分野】　５０時数

月	単元または題材(時数)・学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
	第1部　歴史のとらえ方と調べ方（４）				
4月	**第１節　歴史の流れと時代区分（１）** **第２節　歴史の調べ方・まとめ方・発表の仕方（３）** ○西暦、世紀、元号の意味と使い方を理解し、さまざまな時代区分があることを理解する。	【知】年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解している。①資料から歴史に関わる情報を読み取ったり，年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けている。 【思】時期や年代，推移，現在の私たちとのつながりなどに着目して，歴史上の人物や文化財，出来事などから適切なものを取り上げ，時代区分との関わりなどについて考察し表現している。 【主】過去を継承しつつ，現在に生きる自身の視点から歴史に問いかけ，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ノートやワークシートの記述	定期考査 ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述 学習に取り組む姿勢や態度
	第２部　歴史の大きな流れと時代の移り変わり　　第１章　古代国家の成立と東アジア（１４）				
4月～5月	**第1節　人類の登場から文明の発生へ(5)** ○古代文明や宗教が起こった場所や環境などに着目して文明や宗教の特徴を比較して考察し，世界の各地で人々が農耕や牧畜を基盤に築いた諸文明には，生活技術の発達，文字の使用，国家のおこりと発展，都市や巨大建造物，身分の分化などの共通する特徴があることに気づかせる。 ○ギリシャ・ローマ文明の政治制度について，現代につながる面と現代の民主主義とは異なる面の両面を踏まえて理解させる。	【知】世界の古代文明や宗教のおこりをもとに，世界の各地で文明が築かれたことを理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 【思】古代文明や宗教が起こった場所や環境に着目して，文明や宗教の特徴を比較して考察し，共通点に気づくなど，事象を相互に関連付けるなどして，古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 【主】世界の古代文明や宗教のおこりについて，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ノートやワークシートの記述	定期考査 ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述 学習に取り組む姿勢や態度

5月～6月	**第2節　東アジアの中の倭（日本）(3)** ○日本列島において狩猟・採集を行っていた人々の生活が農耕の広まりとともに変化していったことや，自然崇拝や農耕儀礼などにもとづく信仰が後の時代にもつながっていることに気づかせる。 ○古墳の大きさやその分布をもとに，ヤマト王権の勢力の広がりを大きくとらえさせ，東アジアとのかかわりについては，大陸から移住してきた人々のわが国の社会や文化に果たした役割に気づかせる。	【知】日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰，大和政権による統一の様子と東アジアとのかかわりなどをもとに，東アジアの文明の影響を受けながらわが国で国家が形成されていったことを理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 【思】農耕の広まりや生産技術の発展に着目して，農耕の広まりが生活や社会に与えた影響を考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 【主】日本列島における国家形成について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ノートやワークシートの記述	定期考査 ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述 学習に取り組む姿勢や態度
7月	**第3節　中国にならった国家づくり(4)** ○聖徳太子の政治，大化の改新から律令国家の確立に至るまでの過程を大きくとらえさせ，大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家のしくみが整えられたことを理解させる。 ○大陸からもたらされた仏教が，わが国の文化のさまざまな面に影響を及ぼしたことに気づかせ，国際的な要素をもった文化が栄えたことを理解させる。	【知】律令国家の確立に至るまでの過程をもとに，東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家のしくみが整えられ，その後，天皇や貴族による政治が展開したことを理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 【思】東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化に着目して，東アジアの動きが政治や文化に与えた影響を考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 【主】律令国家の形成について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ノートやワークシートの記述	定期考査 ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述 学習に取り組む姿勢や態度

９月～１０月	**第4章　展開する天皇・貴族の政治(2)** ○摂関政治をもとに平安京における貴族の政治の特色をとらえさせる。 ○東アジアの情勢の変化によって，わが国でも政治と文化において独自の動きが見られるようになったことに気づかせる。 ○日本独自のかな文字が発明され，それを使った文学作品が書かれたことなどに気づかせ，文化の国風化が進んだことを理解させる。	【知】摂関政治をもとに，天皇や貴族による政治が展開したことを理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 【思】東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化に着目して，東アジアの動きが政治や文化に与えた影響を考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 【主】古代の文化と東アジアとの関わりについて，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ノートやワークシートの記述	定期考査 ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述 学習に取り組む姿勢や態度
	第２章　武家政権の成長と東アジア（１２）				
１０月	**第１節 武士の世の始まり（４）** ○武士が台頭して武家政権が成立し，その支配が広まったことを理解させる。 ○武家政治の特徴を考察し，天皇や貴族の政治との違いという観点から，古代から中世への転換の様子に気づかせる。	【知】鎌倉幕府の成立などをもとに，武士が台頭して，主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し，その支配が広まったことを理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 【思】武士の政治への進出と展開や貴族の政治との違いに着目して，武家政治の特徴を考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，古代から中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 【主】武家政治の成立とユーラシアの交流について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ノートやワークシートの記述	定期考査 ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述 学習に取り組む姿勢や態度

11月	**第２節 武家政権の内と外（４）** ○元寇がユーラシアの変化の中で起こったことなど，武家政治の展開とともに，東アジア世界との密接なかかわりが見られたことを理解させる。 ○南北朝の争乱の中で室町幕府が成立し，武家社会が次第に大きな力をもっていったこと，日明貿易で銅銭が大量にもたらされ，貨幣経済の発達を促したこと，琉球が日本，明や朝鮮，東南アジア諸国との中継貿易を行っていたことに気づかせる。	【知】元寇が国内に及ぼした影響，南北朝の争乱と室町幕府，日明貿易，琉球の国際的な役割などをもとに，武家政治の展開とともに，東アジア世界との密接なかかわりが見られたことを理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 【思】東アジアの交流に着目して，東アジアの動きが国内の政治や社会に与えた影響を考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 【主】武家政治の展開と東アジアの動きについて，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ノートやワークシートの記述	定期考査 ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述 学習に取り組む姿勢や態度
12月～1月	**第3節　人々の結びつきが強まる社会(4)** ○農業など諸産業の発達や畿内を中心とした都市や農村における自治的なしくみの成立が,当時の社会の大きな変化であることや，それにともなって商品流通が活発化したことに気づかせる。 ○武家政治の展開や民衆の成長を背景とした多様な文化が生まれたことを理解させ，この時代の文化の中に現代に結びつくものが見られることに気づかせる。 ○各地に戦乱が広まる中で戦国大名が登場し，自らの領国を支配して分国法を定めたり，城下町を形成して産業の振興に努めたりしたことや，下剋上の風潮など，社会全体が大きく変化していったことに気づかせる。	【知】農業など諸産業の発達，都市や農村における自治的なしくみの成立，多様な文化の形成，応仁の乱後の社会的な変動などをもとに，民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 【思】農業や商工業の発達に着目して，民衆の成長が社会に与えた影響を考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 【主】民衆の成長と新たな文化の形成について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ノートやワークシートの記述	定期考査 ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述 学習に取り組む姿勢や態度
	第３章　武家政権の展開と世界の動き（１７）				

2月	**第１節　大航海によって結びつく世界（３）** ○ポルトガルやスペインによる新航路の開拓や宗教改革によるキリスト教世界の動きにともなって，鉄砲やキリスト教が伝来して南蛮貿易がさかんになり，それらが日本の社会に影響を及ぼし，近世社会の基礎がつくられたことを理解させる。 ○新航路の開拓の背景となるアジアの交易の状況やムスリム商人などの役割と世界の結びつきに気づかせる。	【知】ヨーロッパ人来航の背景とその影響をもとに，近世社会の基礎がつくられたことを理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 【思】交易の広がりとその影響に着目して，アジアにヨーロッパが進出する中で，世界の交易の空間的な広がりが生み出され，日本とヨーロッパ諸国の接触が起こったことや，日本の政治や文化に与えた影響を考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 【主】世界の動きについて，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ノートやワークシートの記述	定期考査 ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述 学習に取り組む姿勢や態度
3月	**第2節　戦乱から全国統一へ(3)** ○織田信長が行った仏教勢力への圧迫や関所の撤廃，豊臣秀吉が行った検地・刀狩などの政策によって，中世の大きな勢力が力を失ったことや，中世までとは異なる社会が生まれていったことなどの大きな変化に気づかせる。 ○当時の対外関係として，東南アジアなどとの積極的な貿易，キリスト教への対応，朝鮮への出兵などがあったことを取り上げる。 ○南蛮文化が取り入れられる一方，生活に根ざした文化が広がり，武将や豪商の気風や経済力を背景とした豪華・華麗な文化が生み出されたことに気づかせる。	【知】織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係，武将や豪商などの生活文化の展開などをもとに，近世社会の基礎がつくられたことを理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 【思】統一政権の諸政策の目的に着目して，中世社会から近世社会への変化が生み出され，日本の政治や文化に与えた影響を考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 【主】統一事業について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ノートやワークシートの記述	定期考査 ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述 学習に取り組む姿勢や態度

令和８年度　社会科

学年	２	週授業コマ数	3.5	富中授業時数(45 分)	122	標準授業時数(50 分)	105
使用教科書	地理的分野：「新しい社会　地理」　（東京書籍） 歴史的分野：「社会科 中学生の歴史」（帝国書院） 地図　　：「中学校社会科地図」（帝国書院）						
副教材等	地理的分野：「アクティブ地理総合」（浜島書店） 「学習整理 地理２」（学宝社） 歴史的分野：「つながる歴史　大阪府版」（浜島書店） 「学習整理 歴史２・３」（学宝社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・昨年と同様、社会科を「暗記教科」だと思い込むことはやめましょう。覚えなければならないことがあるということは否定しませんが、社会科の授業は、現代世界や歴史上の世界にたくさん潜んでいる「？？」を理解し、解決していく授業です。授業の中で登場する多くの「？？」について解決していきましょう。課題を見つけて自分なりに解決策を考えていくことは、みなさんがこれから社会をよりよくしていくために大変重要なことです。
・社会科で学ぶテーマは、多角的・多面的な視点で見ることで物事の見え方がまったく異なってきます。自分は物事に対して一面的な捉え方をしていないか普段から注意を払い、柔軟な視野と態度で授業に臨んでください。
・授業では、自分の考えを言葉で伝えたり、文章で伝えたりする機会も多く設定していきたいと思っています。他者の考えを受け入れながら、積極的に取り組んでください。
・定期テストに向けて計画的に勉強しましょう。毎日の積み重ねが大切です。また、一番のテスト対策は、授業中にしっかりアンテナを張り、真剣に臨むことです。テストに出るから重要なのではなく、重要だからテストに出ます。先生の話を決して聞き逃さないように！

2　学習の到達目標

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

【地理的分野】

(1) 日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の地域的特色を考察し理解し、地理的な見方や考え方の基礎を培い、我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を身に付ける。
(2) 日本や世界の地域の諸事象を位置や空間的な広がりとのかかわりでとらえ、それを地域の規模に応じて環境条件や人間の営みなどと関連付けて考察し、地域的特色や地域の課題をとらえることができる。
(3) 大小様々な地域から成り立っている日本や世界の諸地域を比較し関連付けて考察し、それらの地域は相互に関係し合っていることや各地域の特色には地方的特殊性と一般的共通性があること、また、それらは諸条件の変化などに伴って変容していることを理解する。
(4) 地域調査など具体的な活動を通して地理的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を身に付ける。

【歴史的分野】

(1) わが国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に着けるようにする。
(2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを次期や時代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力強いを養う。
(3) 歴史に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情，国民としての自覚，国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深め，国際協調の精神を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地理：観点の趣旨	日本や世界の諸地域について、その地域構成や地域的特色、地域の課題などを理解し、その知識を身に付けている。地図や統計、映像など地域に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	地理的事象から課題を見いだし、日本や世界の地域的特色を地域の規模に応じて環境条件や人々の営みなどと関連付けて多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	地理的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の特色について認識を養おうとする。
歴史：観点の趣旨	我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に着けるようにする。	歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを次期や時代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力強いを養う。	歴史に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情，国民としての自覚，国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深め，国際協調の精神を養う。
上に示す観点に基づいて、学期末・学年末に３段階の観点別学習状況評価にまとめるとともに、観点別学習評価を総括し、５段階の評定にまとめます。			

※表中の観点について　【知】知識・技能　【思】思考・判断・表現　【主】主体的に学習に取り組む態度

4　学習の活動：１２２時数（４５分）

【地理的分野】７２時間

月	**単元または題材(時数)**・学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
	第3編　日本のさまざまな地域(6)		知(a)	思(b)	主(c)
4月	**第１章　地域調査の手法（６）** ・身近な地域における諸事象を取り上げ，観察や調査などの活動を行い，地域に対する理解と関心を深めて地域の課題を見いだし，地域社会の形成に参画し，その発展に努力しようとする態度を養う。市町村規模の地域の調査を行う際の視点や方法，地理的なまとめ方や発表の方法の基礎を身に付ける。	【知】世界のさまざまな地域について、地域的特色とともに世界のさまざまな地域の調査を行う際の視点や方法を理解し、その知識を身に付けている。 【思】世界のさまざまな地域の地域的特色をとらえる適切な主題を設定し、世界のさまざまな地域の調査を行う際の視点や方法をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【主】世界のさまざまな地域の調査とその他地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	定期考査 ノートやワークシートの記述	定期考査 ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述 学習に取り組む姿勢や態度

4月～6月	**第2章日本の地域的特色と地域区分（11）** ・日本の地形や気候の特色，海洋に囲まれた日本の国土の特色，自然災害と防災への取り組みなどを基に，日本の①自然環境に関する特色を理解させる。 ・少子高齢化の課題，国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に，日本の②人口に関する特色を理解させる。 ・日本の資源・エネルギー利用の現状，国内の産業の動向，環境やエネルギーに関する課題などを基に，日本の③資源・エネルギーと産業に関する特色を理解させる。 ・国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況，これを活用した陸上，海上輸送などの物流や人の往来などを基に，国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解させる。 ・①自然環境，②人口，③資源・エネルギーと産業，④交通・通信に基づく地域区分を踏まえ，日本の国土の特色を大観させ，理解させる。 ・日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に，地域区分をする技能を身に付けさせる。 ・①自然環境，②人口，③資源・エネルギーと産業，④交通・通信について，それぞれの地域区分を，地域の共通点や差異，分布などに着目させて，多面的・多角的に考察し，表現させる。 ・日本の地域的特色を，①自然環境，②人口，③資源・エネルギーと産業，④交通・通信に基づく地域区分などに着目させ，それらを関連付けて多面的・多角的に考察，表現させる。 ・日本の地域的特色と地域区分について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。	【知】 ○　日本の地形や気候の特色，海洋に囲まれた日本の国土の特色，自然災害と防災への取り組みなどを基に，日本の①自然環境に関する特色を理解している。 ○　少子高齢化の課題，国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に，日本の②人口に関する特色を理解している。 ○　日本の資源・エネルギー利用の現状，国内の産業の動向，環境やエネルギーに関する課題などを基に，日本の③資源・エネルギーと産業に関する特色を理解している。 ○　国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況，これを活用した陸上，海上輸送などの物流や人の往来などを基に，国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解している。 ○　①自然環境，②人口，③資源・エネルギーと産業，④交通・通信に基づく地域区分を踏まえ，日本の国土の特色を大観し理解している。 ○　日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に，地域区分をする技能を身に付けている。 【思】 ○　①自然環境，②人口，③資源・エネルギーと産業，④交通・通信について，それぞれの地域区分を，地域の共通点や差異，分布などに着目して，多面的・多角的に考察し，表現している。 ○　日本の地域的特色を，①自然環境，②人口，③資源・エネルギーと産業，④交通・通信に基づく地域区分などに着目して，それらを関連付けて多面的・多角的に考察し，表現している。 【主】 ○　日本の地域的特色と地域区分について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ノートやワークシートの記述	定期考査 ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述 学習に取り組む姿勢や態度

7月	**第3章　日本の諸地域(35)** **1　九州地方(5)** ・ 九州地方について，その地域的特色や地域の課題を理解させる。 ・ ①自然環境を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と，それに関連する他の事象や，そこで生ずる課題を理解させる。 ・ 九州地方において，①自然環境の成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目させ，他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察，表現させる。 ・ 九州地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。	【知】 ○　九州地方について，その地域的特色や地域の課題を理解している。 ○　①自然環境を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と，それに関連する他の事象や，そこで生ずる課題を理解している。 【思】 ○　九州地方において，①自然環境の成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目して，他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し，表現している。 【主】 ○　九州地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ノートやワークシートの記述	定期考査 ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述 学習に取り組む姿勢や態度
8月～9月	**2、中国・四国地方(5)** ・ 中国・四国地方について，その地域的特色や地域の課題を理解させる。 ・ ④交通・通信を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と，それに関連する他の事象や，そこで生ずる課題を理解させる。 ・ 中国・四国地方において，④交通・通信の成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目させ，他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察，表現させる。 ・ 中国・四国地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。	【知】 ○　中国・四国地方について，その地域的特色や地域の課題を理解している。 ○　④交通・通信を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と，それに関連する他の事象や，そこで生ずる課題を理解している。 【思】 ○　中国・四国地方において，④交通・通信の成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目して，他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し，表現している。 【主】 ○　中国・四国地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ノートやワークシートの記述	定期考査 ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述 学習に取り組む姿勢や態度

10月	3、近畿地方(5) ・ 近畿地方について，その地域的特色や地域の課題を理解させる。 ・ ②人口や都市・村落を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と，それに関連する他の事象や，そこで生ずる課題を理解させる。 ・ 近畿地方において，②人口や都市・村落の成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目させ，他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察，表現させる。 ・ 近畿地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。	【知】 ○近畿地方について，その地域的特色や地域の課題を理解している。 ②人口や都市・村落を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と，それに関連する他の事象や，そこで生ずる課題を理解している。 【思】 ○近畿地方において，②人口や都市・村落の成立条件を， 地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目して，他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し，表現している。 【主】 ○近畿地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ノートやワークシートの記述	定期考査 ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述 学習に取り組む姿勢や態度
10月～11月	4、中部地方(5) ・ 中部地方について，その地域的特色や地域の課題を理解させる。 ・ ③産業を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と，それに関連する他の事象や，そこで生ずる課題を理解させる。 ・ 中部地方において，③産業の成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目させ，他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察，表現させる。 ・ 中部地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。	【知】 ○ 中部地方について，その地域的特色や地域の課題を理解している。 ○ ③産業を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と，それに関連する他の事象や，そこで生ずる課題を理解している。 【思】 ○ 中部地方において，③産業の成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目して，他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し，表現している。 【主】 ○ 中部地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ノートやワークシートの記述	定期考査 ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述 学習に取り組む姿勢や態度

11月～12月	**5、関東地方(5)** ・ 関東地方について，その地域的特色や地域の課題を理解させる。 ・ ④交通・通信を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と，それに関連する他の事象や，そこで生ずる課題を理解させる。 ・ 関東地方において，④交通・通信の成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目させ，他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察，表現させる。 ・ 関東地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。	【知】 ○関東地方について，その地域的特色や地域の課題を理解している。 ○④交通・通信を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と，それに関連する他の事象や，そこで生ずる課題を理解している。 【思】 ○関東地方において，④交通・通信の成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目して，他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し，表現している。 【主】 ○関東地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見 られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ノートやワークシートの記述	定期考査 ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述 学習に取り組む姿勢や態度
12月～1月	**6、東北地方(5)** ・ 東北地方について，その地域的特色や地域の課題を理解させる。 ・ ⑤その他（生活・文化）を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と，それに関連する他の事象や，そこで生ずる課題を理解させる。 ・ 東北地方において，⑤その他（生活・文化）の成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目させ，他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察，表現させる。 ・ 東北地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。	【知】 ○ 東北地方について，その地域的特色や地域の課題を理解している。 ○ ⑤その他（生活・文化）を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と，それに関連する他の事象や，そこで生ずる課題を理解している。 【思】 ○ 東北地方において，⑤その他（生活・文化）の成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目して，他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し，表現している。 【主】 ○ 東北地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ノートやワークシートの記述	定期考査 ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述 学習に取り組む姿勢や態度

1月～2月	**7、北海道地方(5)** ・ 北海道地方について，その地域的特色や地域の課題を理解させる。 ・ ①自然環境を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と，それに関連する他の事象や，そこで生ずる課題を理解させる。 ・ 北海道地方において，①自然環境の成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目させ，他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的･多角的に考察，表現させる。 ・ 北海道地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。	【知】 ○ 北海道地方について，その地域的特色や地域の課題を理解している。 ○ ①自然環境を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と，それに関連する他の事象や，そこで生ずる課題を理解している。 【思】 ○ 北海道地方において，①自然環境の成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目して，他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し，表現している。 【主】 ○ 北海道地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ノートやワークシートの記述	定期考査 ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述 学習に取り組む姿勢や態度
2月～3月	**第4章　地域の在り方(5)** ・ 地域の実態や課題解決のための取り組みを理解させる。 ・ 地域的な課題の解決に向けて考察，構想したことを適切に説明，議論しまとめる手法について理解させる。 ・ 地域の在り方を，地域の結び付きや地域の変容，持続可能性などに着目し，そこで見られる地理的な課題について多面的･多角的に考察，構想，表現させる。 ・ 地域の在り方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を身に付けさせる。	【知】 ○ 地域の実態や課題解決のための取り組みを理解している。 ○ 地域的な課題の解決に向けて考察，構想したことを適切に説明，議論しまとめる手法について理解している。 【思】 ○ 地域の在り方を，地域の結び付きや地域の変容，持続可能性などに着目し，そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 【主】 ○ 地域の在り方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	定期考査 ノートやワークシートの記述	定期考査 ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述 学習に取り組む姿勢や態度

【歴史的分野】５４時間

月	単元または題材(時数)・学習内容	単元(題材)の評価規準			
	第３章　武家政権の展開と世界の動き（１７）				
4月	**第3節　武士による全国支配の完成(4)** ○江戸幕府の支配の下に大きな戦乱のない時期を迎えたことなど，中世から近世への転換のようすを，中世の武家政治との違いに着目して考察させ，自分の言葉で表現させる。 ○江戸幕府の成立と大名統制については，幕府が大名を統制するとともに，その領内の政治の責任を大名に負わせたことに気づかせる。	【知】江戸幕府の成立と大名統制，鎖国などの幕府の対外政策と対外関係をもとに，幕府と藩による支配が確立したことを理解しているとともに資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 【思】統一政権の諸政策の目的に着目して，江戸幕府により全国を支配するしくみが作られ，安定した社会が構築されたことを考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 【主】江戸幕府の成立と対外関係について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ノートやワークシートの記述	定期考査 ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述 学習に取り組む姿勢や態度
5月	**第4節　天下泰平の世の中(4)** ○身分制のもとで，人々はそれぞれの身分の中で職分を果たしたこと，農村が幕府や藩の経済を支えていたことなどに気づかせる。 ○農林水産業や手工業，商業などの産業や河川・海上交通，街道が発達したことについて，身近な地域の特徴を生かした事例を選んで理解させる。 ○藩校や寺子屋などの普及に着目して，人々の教育への関心の高まりに気づかせるとともに，学問・芸術・芸能などの地域的な広まりに着目して，文化の社会的な基盤が拡大したことを理解させる。 ○近世の文化について，大阪・京都・江戸などの都市を舞台に，経済力を高めた町人を担い手とする文化が形成されたことなどを理解させる。	【知】身分制と農村のようすをもとに，幕府と藩による支配が確立したこと，産業や交通の発達，教育の普及と文化の広がりをもとに，町人文化が都市を中心に形成されたことや，各地方の生活文化が生まれたことを理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 【思】統一政権の諸政策の目的に着目して，江戸幕府により全国を支配するしくみが作られ，都市や農村における生活や変化し，安定した社会が構築されたことを考察したり，産業の発達と文化の担い手の変化に着目して，都市を中心とした経済が形成されていく中で，日本の文化の空間的な広がりが生み出され，それを背景として各地方の生活文化が生まれたことや，生産技術の向上や交通の整備と町人文化の特徴を考察したりするなど，事象を相互に関連付けるなどして，近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 【主】産業の発達と町人文化などについて，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ノートやワークシートの記述	定期考査 ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述 学習に取り組む姿勢や態度

6月	**第5節　社会の変化と幕府の対策** **(3)** ○貨幣経済の農村への広がりや自然災害などによる都市や農村の変化などをふまえ，近世社会の基礎が動揺していったことに気づかせる。 ○外国船の接近とそれに対応した幕府による北方の調査や打払令などを取り上げる。 ○財政の悪化などを背景とした幕府の政治改革を取り上げ，百姓一揆などに結びつく農村の変化や商業の発達などへの対応というねらいがあったことに気づかせる。 ○蘭学や国学などの中に新しい時代を切り開く動きがみられたことに気づかせる。	【知】社会の変動や欧米諸国の接近，幕府の政治改革，新しい学問・思想の動きなどをもとに，幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 【思】社会の変化と幕府の政策の変化に着目して，貨幣経済が農村に広がる中で経済的な格差が生み出され，それらの背景として百姓一揆がおこったことや，社会や経済の変化への対応としての諸改革の展開を考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 【主】幕府政治の展開について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ノートやワークシートの記述	定期考査 ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述 学習に取り組む姿勢や態度
	第４章　近代（前半）　近代国家の歩みと国際社会（２３）				
7月	**第1節　欧米諸国における「近代化」(5)** ○政治体制の変化や人権思想の発達や広がり，現代の政治とのつながりなどと関連づけて，アメリカの独立やフランス革命を取り上げ，政治的な対立と社会の混乱，そこで生じた犠牲などを経て近代民主政治への動きが生まれたことに気づかせる。 ○工業化による社会の変化という観点から，イギリスなどにおける産業革命を取りあげ，資本主義社会が成立したことや労働問題・社会問題が発生したことに気づかせる。 ○産業革命の進展にともなって，欧米諸国が新たな工業製品の市場や工業原料の供給地を求めてアジアへの進出を強めたことを理解させる。	【知】欧米諸国における市民革命や産業革命をもとに，欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへの進出したことを理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 【思】工業化の進展と政治や社会の変化に着目して，近代化の進展により欧米諸国の政治や社会がどのように変化したかを考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 【主】欧米における近代社会の成立について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ノートやワークシートの記述	定期考査 ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述 学習に取り組む姿勢や態度
9月	**第2節　開国と幕府の終わり(4)** ○欧米諸国のアジア進出と関連づけて取り扱い，アヘン戦争後に幕府が対外政策を転換して開国したことと，その政治的および社会的な影響を理解させ，それが明治維新の動きを生み出したことに気づかせる。	【知】欧米諸国のアジア進出による中国の動き，日本の開国と貿易の開始による政治的，経済的，社会的な影響を理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 【思】工業化の進展と政治や社会の変化に着目して，欧米諸国の市場や原料供給地を求めたアジアへの進出が，日本の政治や社会に与えた影響を考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 【主】欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動きについて，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ノートやワークシートの記述	定期考査 ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述 学習に取り組む姿勢や態度

10月	**第3節　明治政府による「近代化」の始まり(3)** ○明治維新について，複雑な国際情勢の中で独立を保ち，近代国家を形成していった政府や人々の努力に気づかせる。 ○富国強兵・殖産興業政策の下に新政府が行った，廃藩置県，学制・兵制・税制の改革，身分制度の廃止，領土の画定を取りあげ，学制など今日につながる諸制度がつくられたことや，身分制度の廃止にもかかわらず現実には差別が残ったことに気づかせる。 ○欧米諸国から取り入れた制度や文化の影響で，社会のようすや人々の生活が大きく変化したことに気づかせる。	【知】富国強兵・殖産興業政策，文明開化の風潮などをもとに，明治維新によって近代国家の基礎が整えられて，人々の生活が大きく変化したことを理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 【思】明治政府の諸改革の目的に着目して，諸改革が政治や文化や人々の生活に与えた影響を考察したり，明治維新について，近世の政治や社会との違いに着目して，近世から近代への転換のようすを考察したりするなど，事象を相互に関連付けるなどして，近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 【主】明治維新と近代国家の形成について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ノートやワークシートの記述	定期考査 ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述 学習に取り組む姿勢や態度
11月～12月	**第4節　近代国家への歩み(4)** ○自由民権運動の全国的な広まり，政党の結成，憲法の制定過程とその内容の特徴を取り上げ，大日本帝国憲法の制定によって当時アジアで唯一の立憲制の国家が成立したことをふまえ，立憲制の国家が成立して議会政治が始まったことの歴史上の意義や現代の政治とのつながりに気づかせる。	【知】自由民権運動，大日本帝国憲法の制定をもとに，立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに，日本の国際的な地位が向上したことを理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 【思】議会政治や政治の展開に着目して，世界との関係や，現代の政治とのつながりを考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 【主】議会政治の始まりについて，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ノートやワークシートの記述	定期考査 ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述 学習に取り組む姿勢や態度
1月～2月	**第5節　帝国主義と日本(4)** ○国内の社会状況や国際情勢とのかかわりなどの背景をふまえて，欧米諸国と対等の外交関係を樹立するための長年の努力の過程で条約改正が実現したことを理解させる。 ○大陸との関係をふまえて，日清・日露戦争にいたるまでの日本の動き，戦争のあらましと国内外の反応，韓国の植民地化などを取り上げ，日本の国際的地位が向上したことを理解させる。	【知】条約改正，日清・日露戦争などをもとに，日本の国際的な地位が向上したことを理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 【思】外交や戦争の展開に着目して，世界との関係や現代の政治とのつながりを考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 【主】国際社会との関わりについて，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ノートやワークシートの記述	定期考査 ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述 学習に取り組む姿勢や態度

3月	**第6節　アジアの強国の光と影（3）** ○富国強兵・殖産興業政策の下，製糸業，紡績業や鉄鋼業などの近代産業が日清戦争前後から飛躍的に発展して，資本主義経済の基礎がかたまったこと，都市や農山漁村の生活に大きな変化が生じたことに気づかせる。 ○近代化遺産を取り上げるなど，身近な地域を例としながら，鉄道網の広がりや工業の発達などによって人々の生活の変化がみられた一方で，労働問題や社会問題が発生したことに気づかせる。 ○伝統的な文化の上に欧米文化を受容して，日本の近代文化が形成されたことに気づかせる。	【知】日本の産業革命とこの時期の国民生活の変化，学問・教育・科学・芸術の発展などをもとに，日本で近代産業が発達し，近代文化が形成されたことを理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 【思】近代化がもたらした文化への影響に着目して，産業の発展が国民生活や文化に与えた影響を考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 【主】近代産業の発達と近代文化の形成について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ノートやワークシートの記述	定期考査 ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述 学習に取り組む姿勢や態度

令和８年度　社会科

学年	3	週授業コマ数	5	富中授業時数(45 分)	156	標準授業時数(50 分)	140
使用教科書	歴史的分野：「社会科　中学生の歴史」（帝国書院） 公民的分野：「社会科　中学生の公民」（帝国書院）						
副教材等	歴史的分野：「つながる歴史　大阪府版」（浜島書店） 「学習整理 歴史２・３」（学宝社） 公民的分野：「ビジュアル公民」（とうほう） 「中学実力練成テキスト　社会　全」（文理） 「よくわかる社会の学習　公民」（明治図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・中学３年生になって、社会の時間数が増えました。これまで２年間学習してきた「歴史」に加え、新たに「公民」という分野を学習します。「公民」で学ぶのは、私たちが生きる社会がどのようなしくみで動いているのか、この社会にどのような課題があるのかなど、みなさんがこれからよりよい社会をつくっていくための基礎となり得ることです。社会に出る日も近づいているみなさんに、よりよい社会をつくっていく担い手としても、そして自分の身を守るためにも、知っておいてほしいことがたくさんあります。ぜひ興味をもって視野を広げ、自分の糧としてください。

・「歴史」の学習も、大正から平成という、ほんの数十年前の出来事を中心に学んでいきます。過去と現在のつながりが目に見えて分かりやすくなったため、身近に感じられることも増えるでしょう。過去の人々の成功や失敗を学び、自分の選択、生き方の指針としてほしいと思います。

・今の社会で起こっていることを少しずつでも知っていきましょう。毎日新聞を読むことがベストですが、難しい人は他のメディアを使ってしっかり情報収集をすることを心がけましょう。ただその際には、情報を鵜呑みにするのではなく、批判的に捉えることもぜひ注意してください。

・授業では、自分の考えを言葉で伝えたり、文章で伝えたりする機会も多く設定していきたいと思っています。まずは多角的・多面的に物事をとらえ、自分の考えをもつことが大切です。そして他者と意見交換をしてください。一人ひとり考え方が違うのは当たり前。広い視野と柔軟な態度で意見交換に臨むことで、きっとそれぞれの世界が広がるはずです。

・定期テストに向けて計画的に勉強しましょう。毎日の積み重ねが大切です。また、一番のテスト対策は、授業中にしっかりアンテナを張り、真剣に臨むことです。テストに出るから重要なのではなく、重要だからテストに出ます。先生の話を決して聞き逃さないように！

・最後に、社会科は暗記教科ではありません。考える教科です！

2　学習の到達目標

【歴史的分野】

(1) わが国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に着けるようにする。

(2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを次期や時代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力強いを養う。

(3) 歴史に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情，国民としての自覚，国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深め，国際協調の精神を養う。

【公民的分野】

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

(1)個人の尊厳と人権の尊重の意義，特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義，民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2)社会的事象の意味や意義，特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

(3)現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を

養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	歴史 わが国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に着けるようにする。 公民 個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めているとともに，諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめている。	歴史 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを次期や時代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力強いを養う。 公民 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	歴史 歴史に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情，国民としての自覚，国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深め，国際協調の精神を養う。 公民 現代の社会的事象について、国家及び社会の担い手として、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動：１５６時数（４５分）

【歴史的分野】５６時間

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	**第５章　近代（後半）二度**	**第1節　第一次世界大戦と民族独立の動き(4)** ○ヨーロッパ諸国間の対立や民族問題を背景として第一次世界大戦が起こったことに気づかせるとともに，日本の参戦，ロシア革命なども取りあげて，世界の動きと日本との関連をふまえて，大戦がその後の国際情勢および日本に大きな影響を及ぼしたことに気づかせる。 ○国際連盟の成立，中国や朝鮮，インドにおける民族運動の	a:第一次世界大戦の背景とその影響，民族運動の高まりと国際協調の動きをもとに，第一次世界大戦前後の国際情勢および日本の動きと，大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 b:世界の動きと日本の関係に着目して，第一次世界大戦による世界の変化や影響を考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，近代の社	定期考査 ノートやワークシートの記述	定期考査 ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述 学習に取り組む姿勢や態度

	の世界大戦と日本（15）	高まり，軍縮条約の締結を取り上げ，日本がどのように対応したかを理解させる。	会の変化の様子を多面的･多角的に考察し，表現している。 c：第一次世界大戦前後の国際情勢について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。			
		第2節　高まるデモクラシーの意識(3) ○国民の政治的自覚が高まり，本格的な政党内閣による政党政治が展開したこと，普通選挙制が実現したこと，米騒動をはじめ，労働運動，農民運動，社会主義運動などの社会運動が幅広く行われるようになったこと，女性の社会的進出が進んだことなどに気づかせる。 ○大都市の発達や都市に住む人々の生活様式や意識の変化，新聞･雑誌などの普及やラジオ放送の開始などを取り上げ，文化の大衆化が進んだことを理解させる。	a：国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化をもとに，第一次世界大戦前後の国際情勢および日本の動きと，大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 b：世界の動きとわが国の関係に着目して，第一次世界大戦による日本の社会の変化や影響を考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 c：第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ノートやワークシートの記述	定期考査 ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述 学習に取り組む姿勢や態度
		第３節　戦争に向かう世論(4) ○世界恐慌に対する各国の対策と対立の深刻化，日本における経済の混乱と社会不安の広がりを取りあげ，政党政治が行きづまりをみせ，軍部が台頭して大陸での勢力を拡張したこと，国際連盟を脱退した日本がドイツと日独防共協定を結んでアメリカやイギリスと対立を深めたこと，中国との戦争が長期化した経緯を理解させる	a：経済の世界的な混乱と社会問題の発生，昭和初期から第二次世界大戦が始まるまでの日本の政治・外交の動きなどをもとに，軍部の台頭から戦争までの経過を理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 b：経済の変化の政治への影響，戦争に向かう時期の社会や生活の変化に着目して，二度目の世界大戦が起こった背景を考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 c：経済の世界的な混乱と社会問題の発生などについて，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ノートやワークシートの記述	定期考査 ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述 学習に取り組む姿勢や態度

		第4節 **第二次世界大戦の惨禍(4)** ○日本がドイツ，イタリアと三国同盟を結び，アメリカ，イギリス，そして終戦直前に参戦したソビエト連邦などとの大戦になったこと，日本が多くの国々，とりわけアジア諸国の人々に対して多大な損害を与えたこと，各地への空襲，沖縄戦，広島・長崎への原子爆弾の投下など，日本の国民も大きな戦禍を受けたことなどから，大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解させ，国際協調と国際平和の実現に努めることが大切であることに気づかせる。 ○戦時体制下で国民の生活がどう変わったかについて，身近な地域の事例を取り上げ，平和な生活を築くことの大切さに気づかせる。	a：第二次世界大戦中の日本の政治・外交の動き，中国などアジア諸国との関係，戦時下の国民の生活などをもとに，大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 b：世界の動きと日本との関連に着目して，二度目の世界大戦が起こった理由やその戦争の影響を世界的な視野で考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 c：第二次世界大戦と人類への惨禍について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ノートやワークシートの記述	定期考査 ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述 学習に取り組む姿勢や態度
	第６章　現代　現在に続く日本と世界　(11)	**第1節　敗戦から立ち直る日本(3)** ○戦後の混乱のなかで，国民の貧しさからの解放の願いや平和と民主主義への期待などを背景に，男女普通選挙の確立や日本国憲法の制定をはじめとして大きな改革が次々に進められ，国民が苦難をのりこえて新しい日本の建設に努力し，現代の日本の骨組みが形成されたことに気づかせる。 ○日本国憲法の基本的原則からその歴史的意義を読み取らせる。 ○戦後の混乱や生活のようす，国民の努力について，身近な地域などの具体的な事例をもとにとらえさせる。 ○冷戦について，国際連合の発足，米ソ両陣営の対立，アジア諸国の独立，朝鮮戦争，その後の平和共存の動きなどを，日本の動きと関連させながら理解させる。	a：日本の民主化と再建の過程，冷戦などをもとに，第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 b：諸改革の展開と国際社会の変化に着目して，諸改革が日本の社会に及ぼした変化や冷戦体制下の日本と世界とのかかわりについて考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 c：日本の民主化と冷戦下の国際社会について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ノートやワークシートの記述	定期考査 ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述 学習に取り組む姿勢や態度

		第2節　世界の多極化と日本の成長(5) ○日本が独立を回復して国際連合に加盟し，国際社会に復帰するまでの経緯を理解している。 ○日本の産業･経済や科学技術の著しい発展とそれにともなう生活の向上や，それらを背景とする世界有数の経済大国への急速な成長，および石油危機が政治や経済に及ぼした影響などに気づかせる。 ○沖縄返還，日中国交正常化などを取りあげ，東アジアとの新たな関係や当時の国際情勢について理解させる。	a：高度経済成長，国際社会とのかかわりなどをもとに，日本の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し，国際社会において日本の役割が大きくなってきたことを理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 b：政治の展開と国民生活の変化に着目して，国民生活への影響と国際平和の実現への努力について考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 c：日本の経済の発展について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ノートやワークシートの記述	定期考査 ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述 学習に取り組む姿勢や態度
		第3節　これからの日本と世界(3) ○日本が独立を回復して国際連合に加盟し，国際社会に復帰するまでの経緯を理解している。 ○日本の産業･経済や科学技術の著しい発展とそれにともなう生活の向上や，それらを背景とする世界有数の経済大国への急速な成長，および石油危機が政治や経済に及ぼした影響などに気づかせる。 ○沖縄返還，日中国交正常化などを取りあげ，東アジアとの新たな関係や当時の国際情勢について理解させる。	a：冷戦の終結をもとに，国際協調の平和外交の推進，開発途上国への援助などもふまえ，国際社会においてわが国の役割が大きくなってきたことを理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 b：政治の展開と国民生活の変化に着目して，国民生活への影響と国際平和の実現への努力について考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，現代の社会の変化の様子を多面的･多角的に考察し，表現している。 c：グローバル化する世界について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ノートやワークシートの記述	定期考査 ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述 学習に取り組む姿勢や態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

【公民的分野】１００時間

学期	単元名	学習内容 （学習目標）	単元（題材）の評価規準 ①＝知識・技能　②＝思考・判断・表現 ③＝主体的に学習に取り組む態度	評価方法		
				知①	思②	主③
前期	**第１部　現代社会**					
	第1章　現代社会と私たち ■章の問い■ よりよい社会生活を営むために、私たちはどのよ うなことを大切にしていけばよいのだろうか。					
	第1節　現代社会の特色	(1)情報化、グローバル化、少子高齢化が現在と将来の政治、経済、国際関係　に与える影響について、「位置や空間的な広がり」「推移や変化」などの見方・考　え方を働かせて、多面的・多角的に考察し、表現できる。 (2)p.11「節の問いをまとめよう」について、p.24「節の振り返り」の第１節の表に自分の考えをまとめることができる。	①現代日本の社会の特色として情報化、グローバル化、少子高齢化が見られることを理解し　ている。 ②位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、情報化、グローバル化、少子高齢化　などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、　表現している。 ③私たちが生きる現代社会の特色について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的　に追究し、自分たちの生活地域や社会に関わろうとしている。 ③p.11「節の問いをまとめよう」について、p.24「節の振り返り」の図を完成させ、節の問　いの答えを自分なりにまとめている。	・定期考査 ・ノートやワークシートの記述	・定期考査 ・ノートやワークシートの記述	・定期考査 ・ノートやワークシートの記述 ・学習に取り組む態度や姿勢
	第2節　私たちの生活と文化	(1)現代社会における文化の意義や影響を理解できるとともに、文化の継承と　創造の意義について、「位置や空間的な広がり」「推移や変化」などの見方・考え　方を働かせて、多面的・多角的に考察し、表現できる。 (2)p.15「節の問いをまとめよう」について、p.24「節の振り返り」の第２節の表に自分の考えをまとめることができる。	①現代社会における文化の意義や影響および日本の文化の特色を、地域の伝統文化や無形文化遺産、日本のアニメーションなど、文化の多彩な側面から理解している。 ②文化の継承と創造の意義について考察するとともに、異文化理解が求められている理由を、さまざまな資料を活用しながら、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③私たちが生きる現代社会と文化の特色について、自分たちの生活する地域や社会に関わりながら現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に追究しようとしている。	・定期考査 ・ノートやワークシートの記述	・定期考査 ・ノートやワークシートの記述	・定期考査 ・ノートやワークシートの記述 ・学習に取り組む態度や姿勢

	第3節 現代社会をとらえる枠組み	対立と合意、効率と公正などに着目して、課題を追究したり解決したりする活 動を通して、次の資質・能力を身に付けるようにする。 (1)現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と 公正などについて理解できる。また、人間は本来社会的存在であることを基 に、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義お よび個人の責任について理解できる。 (2)社会生活における物事の決定のしかた、きまりを通した個人と社会との関 係、きまりの役割について多面的・多角的に考察し、表現できる。 (3)現代社会をとらえる枠組みについて、現代社会に見られる課題の解決を視 野に主体的に社会に関わろうとしている。 (4)p.21「節の問いをまとめよう」について、p.24「節の振り返り」の第 3 節の表に自分の考えをまとめることができる。	①現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについ て理解している。 ①人間は本来社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等、きまりの重要 性やそれを守ることの意義、個人の責任について理解している。 ②社会生活における物事の決定のしかた、きまりを通した個人と社会との関係、きまりの役 割について、事例の評価や合意案の作成と修正を通して、「効率と公正」などの見方・考え方 を働かせて多面的・多角的に考察し、表現している。 ③「防災備蓄倉庫の新設を考えてみよう」の事例における合意案の作成と修正に主体的に取り 組んでいる。 ③日常生活にあるきまり、社会や社会集団の中で対立と合意、効率と公正がどのようにして 生じているかを、主体的に調べ、まとめようとしている。 ③p.21「節の問いをまとめよう」について、p.24「節の振り返り」のの図を完成させ、節の 問いの答えを自分なりにまとめている。	・定期考査 ・ノートやワークシートの記述	・定期考査 ・ノートやワークシートの記述	・定期考査 ・ノートやワークシートの記述 ・学習に取り組む態度や姿勢
	第 2 部 政治					
	第1章 日本国憲法と私たち ■章の問い■ 民主的な社会をつくるために、私たちはどのように 憲法をとらえ、考えていくべきなのだろうか。					

	第1節 民主主義と日本国憲法	(1)小学校社会科の学習との円滑な接続を図り、法に基づく政治の大切さにつ いて、「対立と合意」「効率と公正」「個人の尊重と法の支配」「民主主義」などの見 方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察し、表現できる。 (2)p.41「節の問いをまとめよう」について、p.70「節の振り返り」の第 1 節の表に自分の考えをまとめることができる。	①立憲主義の意義と法に基づく政治の大切さ、日本国憲法の三大原理、国民主権の意義と天 皇の地位について理解し、その知識を身に付けている。 ②民主的な社会生活に関わるさまざまな事象から学習課題を見出し、「対立と合意」「効率と 公正」「個人の尊重と法の支配」「民主主義」などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的 に考察し、表現している。 ③民主的な社会生活に関わるさまざまな事象を基に、よりよい社会を考え、学習したことを 社会生活に生かそうとしている。 ③p.41「節の問いをまとめよう」について、p.70「節の振り返り」の図を完成させ、節の 問いの答えを自分なりにまとめている。	・定期考査 ・ノートやワークシートの記述	・定期考査 ・ノートやワークシートの記述	・定期考査 ・ノートやワークシートの記述 ・学習に取り組む態度や姿勢
後期	第2節 基本的人権の尊重	(1)基本的人権を中心とした人間の尊重についての考え方を理解できるとも に、日本国憲法で基本的人権が保障されていることの意義について、多面的・ 多角的に考察し、表現できる。 (2)p.63「節の問いをまとめよう」について、p.70「節の振り返り」の第 2 節の表に自分の考えをまとめることができる。	①基本的人権の保障について、個人の尊厳を基礎に、自由権、平等権、社会権などの権利が 保障されていることを理解しているとともに、現実の社会にある差別や偏見について、さま ざまな資料を調べ、まとめている。 ②社会権が生まれてきた背景や新しい人権が広がってきた理由について、社会の変化や歴史 的な経緯などから多面的・多角的に考察し、表現している。 ③基本的人権の保障を巡り、自由権、平等権、社会権など憲法で保障されている権利が、必 ずしも守られていない状況に着目し、人権を巡る諸課題について主体的に調べ、まとめよう としている。 ③p.63「節の問いをまとめよう」について、p.70「節の振り返り」の図を完成させ、節の 問いの答えを自分なりにまとめている。	・定期考査 ・ノートやワークシートの記述	・定期考査 ・ノートやワークシートの記述	・定期考査 ・ノートやワークシートの記述 ・学習に取り組む態度や姿勢

	第3節 法の支配を支えるしくみ	(1)日本では日本国憲法が最高法規であり、日本国憲法に基づく政治によっ て、国民の自由と権利が守られていることを理解できる。 (2)p.69「節の問いをまとめよう」について、p.70「節の振り返り」の第3節 の表に自分の考えをまとめることができる。	①憲法が最高法規であることの意味、三権分立、違憲審査のしくみを理解し、憲法改正のし くみと課題について、さまざまな資料から調べ、図表などにまとめている。 ②法の支配を実現し、権力の濫用を防ぐために、憲法保障としてどのようなしくみがつくら れているのか、憲法保障のため国民はどのようなことができるのかについて、多面的・多角 的に考察し、表現している。 ③18 歳以上の国民は、憲法改正の国民投票を行うことができることに着目し、憲法の意義や 憲法を巡る課題について主体的に追究しようとしている。 ③pp.69「節の問いをまとめよう」について、p.70「節の振り返り」の図を完成させ、節 の問いの答えを自分なりにまとめている。	・定期考査 ・ノートやワークシートの記述	・定期考査 ・ノートやワークシートの記述	・定期考査 ・ノートやワークシートの記述 ・学習に取り組む態度や姿勢
	第2章 政治と私たち ■章の問い■ 民主主義の担い手として、私たちはどのように政 治に関わっていけばよいのだろうか。					
	第1節 民主政治と私たち	(1)個人を尊重し、基本的人権を守る政治を実現するためには、公正な世論の 形成や選挙など、国民の政治参加と国民の意思を国政や地方の政治に十分反映 させることが必要であることを理解できる。 (2)p.83「節の問いをまとめよう」について、p.110「節の振り返り」の第1節 の表に自分の考えをまとめることができる。	①民主政治を発展させるために必要なことについて、法律と権力の関係、間接民主制のしく みや政党とマスメディアの役割、選挙制度のしくみを理解し、日本の政党や選挙制度の課題 について、さまざまな資料から調べ、図表などにまとめている。 ②公正な世論を形成し、民主政治を実現するために、国民一人一人が、メディアリテラシー を身に付けることの必要性や、公正な選挙を行うためにどのようなしくみが求められるのか について多面的・多角的に考察し、表現している。 ③18 歳以上に投票権があることを認識し、公正な選挙制度のあり方や日本の選挙制度の課題 について主体的に調べ、追究しようとしている。 ③p.83「節の問いをまとめよう」について、p.110「節の振り返り」の図を完成させ、節の 問いの答えを自分なり	・定期考査 ・ノートやワークシートの記述	・定期考査 ・ノートやワークシートの記述	・定期考査 ・ノートやワークシートの記述 ・学習に取り組む態度や姿勢

			にまとめている。			
	第2節 国の政治のしくみ	(1)国会を中心とする日本の民主政治のしくみのあらましや政党の役割、法に 基づく公正な裁判の保障について理解できる。 (2)p.97「節の問いをまとめよう」について、p.110「節の振り返り」の第 2 節の表に自分の考えをまとめることができる。	①国会、内閣、裁判所の役割について、それぞれの機関のしくみと仕事の内容を理解すると ともに、それぞれの機関の相互の関連性について、さまざまな資料から調べ、図表などにま とめている。 ②国民主権を守るという観点から、国会、内閣、裁判所の果たすべき役割と、それぞれの機 関が抱える課題について多面的・多角的に考察し、表現している。 ③国会、内閣、裁判所と私たちの生活との関わりに着目し、将来、裁判員に選任される可能 性があることを踏まえ、裁判のあり方や裁判員制度のしくみについて主体的に考察し、追究 しようとしている。 ③p.97「節の問いをまとめよう」について、p.110「節の振り返り」の図を完成させ、節の 問いの答えを自分なりにまとめている。	・定期考査 ・ノートやワークシートの記述	・定期考査 ・ノートやワークシートの記述	・定期考査 ・ノートやワークシートの記述 ・学習に取り組む態度や姿勢
	第3節 地方自治と私たち	(1)地方自治の基本的な考え方について理解できる。 (2)地方自治を発展させるために、私たちはどのように地方自治体の政治に参 加すべきかについて、「対立と合意」「効率と公正」などの見方・考え方を働かせ て、多面的・多角的に考察、構想し、表現できる。 (2)p.107「節の問いをまとめよう」について、p.110「節の振り返り」の第 3 節 の表に自分の考えをまとめることができる。	①地方公共団体の仕事としくみ、政治参加のしかたを理解し、地方財政の抱える課題につい て、さまざまな資料から読み取り、図表などにまとめている。 ②若者の投票率が低いという問題点を、地方自治が「民主主義の学校」とよばれることや、政 治参加することの意義などから多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地方自治と私たちの生活との関わりに着目し、自分たちが近い将来、選挙権を持つことを 意識し、選挙権の行使や地方自治のしくみについて主体的に調べ、まとめようとしている。 ③p.107「節の問いをまとめよう」について、p.110「節の振り返り」の図を完成させ、節の 問いの答えを自分なりにまとめている。	・定期考査 ・ノートやワークシートの記述	・定期考査 ・ノートやワークシートの記述	・定期考査 ・ノートやワークシートの記述 ・学習に取り組む態度や姿勢

第３部　経済

第1章　経済活動と私たち

■章の問い■

私たちの社会を豊かにするために、経済にはどのような働きがあるのだろうか。

第1節　経済のしくみと消費	(1)身近な消費活動を中心に、経済活動の意義を理解できるとともに、価格の 働きに着目して市場経済の基本的な考え方について理解できる。 (2)経済活動を活発にしていくための消費者の役割と責任を理解できるとも に、消費者の保護など消費者を巡る問題について、政府の取り組みなどを理解 できる。 (3)p.127「節の問いをまとめよう」について、p.174「節の振り返り」の第１節の表に自分の考えをまとめることができる。	①価格の決まり方や資源の配分、市場経済の基本的な考え方について理解し、そのしくみを 図表などにまとめている。 ①私たちの生活を豊かにするための消費者の役割と責任を理解しているとともに、国や地方 公共団体は消費者の権利の尊重およびその自立の支援のために、消費者政策を推進する役割 を担っていることを理解している。 ②分業と交換、希少性などに着目したり関連付けたりして、経済活動や市場経済の意義につ いて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ②経済活動を活発にするための消費者の役割や責任について、多面的・多角的に考察し、そ の過程や結果を適切に表現している。 ③経済活動や市場経済の意義について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体 的に学習課題を解決しようとしている。 ③個人の消費生活に関する諸問題に着目し、主体的に問題解決しようとしたり、学習したこ とを自らの消費生活に生かそうとしたりしている。 ③p.127「節の問いをまとめよう」について、p.174「節の振り返り」の図を完成させ、節の 問いの答えを自分なりにまとめている。	・定期考査 ・ノートやワークシートの記述	・定期考査 ・ノートやワークシートの記述	・定期考査 ・ノートやワークシートの記述 ・学習に取り組む態度や姿勢

	第2節 企業と生産	(1)経済を活発にしていくための企業の役割と責任について考えることができ る。その際、社会生活における職業の意義と役割および雇用と労働条件の改善 について、勤労の権利と義務、労働組合の意義および労働基準法の精神と関連 付けて考えることができる。 (2)p.143「節の問いをまとめよう」について、p.174「節の振り返り」の第 2 節 の表に自分の考えをまとめることができる。	①企業の経済活動に関するさまざまな資料から、社会・経済の動きを適切に読み取り、要点 を図表などにまとめるとともに、企業活動のしくみや役割を理解し、勤労の権利と義務、労 働組合の意義、企業の社会的責任などについて理解している。 ②企業の役割や責任、職業の意義および雇用と労働条件の改善について、さまざまな資料を 基に課題を見出し、「対立と合意」「効率と公正」などの見方・考え方を働かせて、多面的・多 角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ③企業の経済活動について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろ うとしている。 ③p.143「節の問いをまとめよう」について、p.174「節の振り返り」の図を完成させ、節の 問いの答えを自分なりにまとめている。	・定期考査 ・ノートやワークシートの記述	・定期考査 ・ノートやワークシートの記述	・定期考査 ・ノートやワークシートの記述 ・学習に取り組む態度や姿勢
	第3節 市場経済と金融のしくみ	(1)市場経済では財やサービスの取り引きが貨幣を通して行われていることを 理解できるとともに、近年ではデジタル通過という新しい金融サービスを提供 する動きがあることを理解できる。 (2)市場価格にはさまざまな決まり方があることを踏まえ、市場価格決定のし くみについて考察できる。 (3)金融の役割や日本銀行の役割について、多面的・多角的に考察し、表現で きる。 (4)p.153「節の問いをまとめよう」について、p.174「節の振り返り」の第 3 節 の表に自分の考えをまとめることができる。	①市場経済のしくみや価格の働きについて理解している。 ①金融の役割や日本銀行の金融政策について理解している。 ②市場経済における価格決定のしくみ、金融の役割、日本銀行の金融政策について、さまざ まな資料を基に課題を見出し、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現して いる。 ③通貨や金融に関する新しい動きについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的 に社会に関わろうとしている。 ③p.153「節の問いをまとめよう」について、p.174「節の振り返り」の図を完成させ、節の 問いの答えを自分なりにまとめている。	・定期考査 ・ノートやワークシートの記述	・定期考査 ・ノートやワークシートの記述	・定期考査 ・ノートやワークシートの記述 ・学習に取り組む態度や姿勢

	第4節 財政と私たち	(1)社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会 保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解できる。ま た、財政および租税の意義、国民の納税の義務について理解できる。 (2)市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果 たす役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現できる。また、財政お よび租税の役割について多面的・多角的に考察し、表現できる。 (3)国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野 に主体的に社会に関わろうとしている。 (4)p.165「節の問いをまとめよう」について、p.175「節の振り返り」の第 4 節 の表に自分の考えをまとめることができる。	①公共サービスの提供と税金に着目して、財政のしくみを理解しているとともに、社会資本 の整備、公害の防止や環境の保全、社会保障の充実などを通して、私たちの生活が財政の働 きにより支えられていることを理解し、さまざまな資料から日本の財政が抱える問題を読み 取っている。 ②少子高齢化が進むなか、国民生活の向上に向けて、公正な税制度のあり方やこれからの社 会保障制度と財政のあり方などについて、「効率と公正」「分業と交換」「希少性」などの見方・ 考え方を働かせて、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ③国民生活と福祉の向上に向けた政府の役割について、財政に着目して積極的に追究し、現 代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 ③p.165「節の問いをまとめよう」について、p.175「節の振り返り」の図を完成させ、節の 問いの答えを自分なりにまとめている。	・定期考査 ・ノートやワークシートの記述	・定期考査 ・ノートやワークシートの記述	・定期考査 ・ノートやワークシートの記述 ・学習に取り組む態度や姿勢
	第5節 日本経済の課題とこれから	(1)「現代日本の特色」についての学習と関連付けながら、グローバル化の進行 により、日本経済が世界経済の影響を強く受けていることを理解するととも に、これからの日本経済の発展のために必要なことを多面的・多角的に考察 し、表現できる。 (2)p.173「節の問いをまとめよう」について、p.175「節の振り返り」の第 5 節 の表に自分の考えをまとめることができる。	①景気変動のしくみや日本銀行の役割などに着目して、日本経済の特色を理解するととも に、グローバル化や経済活動のデジタル化が進む中、日本経済の課題について、さまざまな 情報手段を活用して情報を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などに まとめたりしている。 ②日本経済の発展のためにこれからの日本企業に求められることについて、多面的・多角的 に考察し、表現している。 ③グローバル化や経済活動のデジタル化が進行するなか、日本経済に見られる課題につい て、主体的に問題解決しようとしたり、学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。 ③p.173「節の問いをまとめよう」に	・定期考査 ・ノートやワークシートの記述	・定期考査 ・ノートやワークシートの記述	・定期考査 ・ノートやワークシートの記述 ・学習に取り組む態度や姿勢

			ついて、p.175「節の振り返り」の図を完成させ、節の 問いの答えを自分なりにまとめている。			
	第４部 国際					
	第1章 国際社会と私たち ■章の問い■ 世界平和と人類の福祉の増大を実現するために、国際社会はどのようなことができるのだろうか。					
	第1節 国際社会のしくみ	(1)国際社会においては、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理 解と協力および国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であること を理解できる。 (2)p.191「節の問いをまとめよう」について、p.210「節の振り返り」の第1節の表に自分の考えをまとめることができる。	①国際社会においては、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力および 国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解し、領土（領海、領空 を含む）や国家主権の意味、国際連合のしくみと役割、グローバル化が国際社会や政治に与 える影響などについて、資料から適切に読み取っている。 ②地域紛争、テロリズム、核兵器の脅威、南北問題など、国際社会におけるさまざまな課題 の背景と、それらの課題の解消に向けて、どのような国際協力が必要なのかについて多面 的・多角的に考察し、表現している。 ③世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に 社会に関わろうとしている。 ③p.191「節の問いをまとめよう」について、p.210「節の振り返り」の図を完成させ、節の 問いの答えを自分なりにまとめている。	・定期考査 ・ノートやワークシートの記述	・定期考査 ・ノートやワークシートの記述	・定期考査 ・ノートやワークシートの記述 ・学習に取り組む態度や姿勢

	第2節　地球的課題とその解決	(1)貧困、地球環境、資源・エネルギーなどの地球規模の社会課題に対して、 その現状と背景を理解し、解決のために求められる国際協調のあり方につい て、多面的・多角的に考察できる。 (2)p.207「節の問いをまとめよう」について、p.210「節の振り返り」の第2節の表に自分の考えをまとめることができる。	①貧困、地球環境、資源・エネルギーなどの地球規模の社会的課題に対して、その現状と背 景、現在の解決に向けた取り組みを、SDGs との関わりに着目して理解している。 ②「協調」「持続可能性」などの見方・考え方を働かせて、地球規模の社会的課題の解決のため に、日本と国際社会ができることについて、多面的・多角的に考察、構想し、表現してい る。 ③地球規模の社会的課題の解決に向けて、身近な生活との関わりに着目し、主体的に社会に 関わり、みずからの行動に生かそうとしている。 ③p.207「節の問いをまとめよう」について、p.210「節の振り返り」の図を完成させ、節 の問いの答えを自分なりにまとめている。	・定期考査 ・ノートやワークシートの記述	・定期考査 ・ノートやワークシートの記述	・定期考査 ・ノートやワークシートの記述 ・学習に取り組む態度や姿勢

※　表中の観点について　①:知識・技能　②:思考・判断・表現　③:主体的に学習に取り組む態度